

新発田市・胎内市・聖籠町

定住自立圏共生ビジョン

第2期

(別冊)

令和 4年 3月 策定
令和 4年 7月 改定
(令和 5年 3月 改定)

新 発 田 市

定住自立圏第2期ビジョンにおける実施内容

様式1

事業名	シェアオフィス設置及び運営事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	令和4年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	51,076	9,100	9,100	9,100	9,100
	胎内市	0	—	—	—	—
	聖籠町	0	—	—	—	—
実施スケジュール		→	→	→	→	→

事業概要

旧尖学^等校の空き校舎などを活用し、新発田市・胎内市・聖籠町にシェアオフィスを設置し、IT企業や研究開発部門など先端産業の誘致を進めるとともに、UJIターンによるスタートアップ企業の育成を支援し、定住自立圏における産業活性化を促進するための環境づくりを行う。

期待される効果

シェアオフィスを拠点として先端産業の企業・スタートアップ企業・圏域内の企業が連携し、新たな産業創出・圏域内の活性化が推進されるほか、UJIターンによる若い世代の労働者増加も期待できる。

費用負担割合

シェアオフィス設置及び運営については、全額新発田市が負担するものとする。

各市町の役割分担

新発田市	シェアオフィスの設置・運営、連携市町との調整を行うとともに、企業誘致を進め、圏域内への労働者定着(特にUJIターン)を促進する。	胎内市	新発田市との取組に必要な連携を図るとともに、圏域内への労働者定着(特にUJIターン)を促進する。
		聖籠町	

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
シェアオフィスへの入居企業数(累計)	0	10

新型コロナウイルスへの対応

現行事業の実施内容の変更の有無及び新たに追加して行う対応

なし

定住自立圏第2期ビジョンにおける実施内容

様式1

事業名	無料法律相談事業	連携市町	新発田市・胎内市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)	R4	R5	R6	R7	R8
新発田市	476	476	476	476	476
胎内市	378	378	378	378	378
聖籠町	352	352	352	352	352
実施スケジュール	→	→	→	→	→

事業概要

新発田市、胎内市、聖籠町の各自治体で実施する無料弁護士相談において、圏域内の住民が、いずれの無料弁護士相談も利用できるように、利便性の向上を図る。

期待される効果

相談体制の充実が図られることにより、圏域内の住民の安心した生活や快適な暮らしが可能となり、社会生活の維持が図られる。

費用負担割合

各市町が負担する。

各市町の役割分担

新発田市	胎内市及び聖籠町が実施する弁護士相談の相互利用を可能とし、住民の利便性を向上させる。	胎内市	新発田市と取組に必要な連携を図るとともに、連携市町が開催する無料弁護士相談の住民への周知等を行う。
		聖籠町	弁護士相談の相互利用を可能とし、住民の利便性を向上させる。

成果指標(KPI)

	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
他市町への相談者人数(人) ※1か月あたり	6	32

新型コロナウイルスへの対応

現行事業の実施内容の変更の有無及び新たに追加して行う対応	なし
------------------------------	----

定住自立圏第2期ビジョンにおける実施内容

様式1

事業名	市道念仏塚線、町道寺島網代浜線整備事業	連携市町	新発田市・聖籠町
		連携開始	平成29年度

事業費の推移(千円)		R4	R5	R6	R7	R8
	新発田市	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
	胎内市					
	聖籠町	700	40,000	-	-	-
実施スケジュール		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

事業概要

新発田市と聖籠町を結ぶ幹線道路脇に歩道を整備し、圏域の多くの高齢者や学生の通院、通学、買い物など、生活機能に必要な安全な交通路を確保する。
 圏域住民の生活に必要な交通路を交流促進を図るため、道路等の交通インフラの整備を行う。
 歩道整備(施工延長1400m、歩道幅員3.0m、橋梁1橋、測量調査)

期待される効果

学生や高齢者などの自動車を運転できない住民の通勤や通学、通院などの生活に必要な生活路が確保されるなど、生活機能の維持や圏域住民の利便性の向上が期待できる。

費用負担割合

事業に要する費用は、管理区分により負担する。

各市町の役割分担

新発田市	連携市町と取組に必要な連携を強化し、歩道整備の実施や利便性の高い道路ネットワーク整備のための各種情報の提供や調整を行う。	胎内市	
		聖籠町	新発田市と取組に必要な連携を図り、歩道整備の実施や利便性の高い道路ネットワーク整備のための各種情報の提供や調整を行う。

成果指標(KPI)

整備した歩道(m)	現状値(令和3年度時点)	目標値(令和8年度)
		100m

新型コロナウイルスへの対応

現行事業の実施内容の変更の有無及び新たに追加して行う対応	なし
------------------------------	----